

受験番号

氏名

令和8年度 神戸大学工学部第3年次編入学試験

令和7年8月19日 実施

試験問題 「小論文(建築学科)」

全 1 ページ(表紙を除く)

注意事項:

1. 試験中は、試験監督の指示に従うこと。従わない場合は、不正行為と見なすことがある。
2. 解答開始の合図があるまで、試験問題を開かないこと。
3. 「受験者心得」で持ち込みが認められたもの以外は、机の上に置かず、カバンの中にしまうこと。試験時間中に使用を認められていない物品を机の上に置いたり、使用したりした場合は、不正行為とみなすことがある。
4. 時計のアラーム、時報、目覚まし音の設定をしている者は解除すること。
5. 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類(ウェアラブル型端末を含む)を時計として使用することはできない。これらを持っている場合は、アラームを設定している者は解除し、必ず電源を切ってから、カバンの中にしまうこと。アラームの解除の仕方が分からない場合は、監督者に申し出ること。試験時間中に、これらを身に着けていた場合は、不正行為と見なすことがある。
6. かばんなどの持ち物は、椅子の下に置くこと。
7. 机の下の物入れは、使用しないこと。
8. 答えは、黒鉛筆またはシャープペンシルで解答すること。
9. 答えは、別紙の解答用紙に解答すること。下書用紙は採点の対象とはならないので注意すること。
10. 試験時間中に質問等がある場合は、手を挙げて試験監督に申し出ること。
11. 試験途中の退室は認めません。ただし、トイレに行きたい場合や気分が悪くなった場合は、手を挙げて試験監督に申し出ること。
12. 解答開始の合図の後、問題用紙・解答用紙・下書用紙全てに、受験番号、氏名を記入すること。
13. 配布した用紙(問題用紙・解答用紙・下書用紙)は、試験時間終了後にすべて回収します。持ち帰ることはできないので、注意すること。

令和8年度 神戸大学工学部第3年次編入学試験問題用紙

科目名：小論文（建築学科）

令和7年8月19日実施
(1枚中の1枚)

I.

昼光は、直射日光・天空光・地物反射光の3つに分類され、大気で散乱される天空光や地面や建物などで反射される地物反射光と異なり、直射日光はほぼ平行光として建物に入射する。この直射日光に関して、以下の2点についてあわせて800字程度(句読点はそれぞれ1文字とする)でできるだけ具体的に答えなさい。

- (1) 直射日光の特徴
- (2) 直射日光と建築の関係に関して留意すべき点